

よこひな通信

夏休み号 令和5年7月19日発行



「志」を持った地域と学校の連携・協働

こうちょう かたおか あつひこ
校長 片岡 充彦

きょういくかんきょう と ま じょうきょう しゃかい どうこう きょういくかいかく ちほうそうせい じだい へんか ともな がっこう ちいき
教育環境を取り巻く状況、社会の動向、教育改革、地方創生など、時代の変化に伴って学校も地域も
その在り方が変化しています。そのような中で、学校と地域が連携協力して「地域と共にある学校づくり」
「学校を核とした地域づくり」の実現が求められています。

ほんこう がっこううんえいきょうぎかい せっち ちいきじゅうみん かた めい じ ち かいちょう ちいき
本校では、「学校運営協議会（コミュニティ・スクール）」が設置され、地域住民の方2名（自治会長、地域
防災拠点運営委員長）を委員として任命させていただいています。（任命している委員は会長以下9名）。学校
は、経営や教育活動について説明をし、地域の運営委員の方からは、地域連携に関連する事柄や防災に関す
る事柄の意見をいただき、経営方針に関する協議及び承認と様々な情報共有を行っています。

さて、平成27年12月の中央教育審議会の答申には、次のような文があります。
『誰かが何とかしてくれる、のではなく、自分たちが「当事者」として、自分たちの力で学校や地域を創り上げ
ていく。子供たちのために学校をよくしたい、元気な地域を創りたい、そんな「志」が集まる学校・地域が創
られ、そこから子供たちが自己実現や地域貢献など、「志」を果たしていける未来こそ、これからの未来の姿で
ある。』

これは、「子供を中心にした地域と学校の在り方」を端的に示している内容であり、本校の目指す「自己実現」
や「地域貢献」も明記されています。

さらに、「志」を持った地域と学校が協働して創出する世界は・・・「障害のある、無し」にとどまら
ない、もっと大きな「ソーシャル・インクルージョン」にも繋がっていくのではないのでしょうか。

この輪に、「志」を持った小学校や中学校、高等学校や幼稚園、福祉施設や企業、医療等も加わると・・・
夢はさらに広がります。